

简 明

日语语法手册

目 錄

i

序 編

五十音圖	1
假名的發音的說明	5
拼音法	6
日語詞的用法及句子構造方面的特征	8

第一編 詞法

日語的詞的分類表	11
*變化詞類的活用表	13
動 詞	15
動詞的定義	15
動詞按其變化的分類	15
動詞的“形”及其用法	15
*動詞的“式”	19
動詞的敬體	31
動詞的“可”和“不可”	33
表示受授的動詞和補助動詞	39
形容詞	47
形容名詞	52
形式用法	53

ii

用言的連接和复合	61
數 詞	67
常用入稱代詞	73
形式体言	75
付 詞	77
連体詞	78
接續詞	79
助動詞	87
*助 詞	89
敬 語	111

第二編 句法

句子的成分及其構造	
句子的成分	129
謂語的構造	135
主、賓、補語的構造	139
定語的構造	140
狀語的構造	145

句子分析

主题及其构造 147

叙述部 153

主题部和叙述部之间的语法联系¹⁵⁵

句节 157

各种句子分述

句子的谓语的构造简表 159

断言句 165

定态句 169

存在句 169

命令句 171

推量句 177

序 编

五十音圖
平假名

行 \ 段	あ段	い段	う段	え段	お段
あ行	あ	い	う	え	お
か行	か	き	く	け	こ
さ行	さ	し	す	せ	そ
た行	た	ち	つ	て	と
な行	な	に	ぬ	ね	の
は行	は	ひ	ふ	へ	ほ
ま行	ま	み	む	め	も
や行	や	い	ゆ	え	よ
ら行	ら	り	る	れ	ろ
わ行	わ ん	(ゐ)	う	(ゑ)	を

濁音 和半濁音

が行	が	ぎ	ぐ	げ	ご
ざ行	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ
だ行	だ	(ぢ)	(づ)	で	ど
ば行	ば	び	ぶ	べ	ぼ
ぱ行	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ

片假名

行 \ 段	ア段	イ段	ウ段	エ段	オ段
ア行	ア	イ	ウ	エ	オ
カ行	カ	キ	ク	ケ	コ
サ行	サ	シ	ス	セ	ソ
タ行	タ	チ	ツ	テ	ト
ナ行	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ
ハ行	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ
マ行	マ	ミ	ム	メ	モ
ヤ行	ヤ	イ	ユ	エ	ヨ
ラ行	ラ	リ	ル	レ	ロ
ワ行	ワ ン	キ	ウ	エ	ヲ

濁音 和半濁音

ガ行	ガ	ギ	グ	ゲ	ゴ
ザ行	ザ	ジ	ズ	ゼ	ゾ
ダ行	ダ	ヂ	ヅ	デ	ド
バ行	バ	ビ	ブ	ベ	ボ
パ行	パ	ピ	プ	ペ	ポ

罗马字的五十音图(括弧内为日本式)

段 行	a 段	i 段	u 段	e 段	o 段
a 行	a	i	u	e	o
ka 行	ka	ki	ku	ke	ko
sa 行	sa	shi (si)	su	se	so
ta 行	ta	chi (ti)	tsu (tu)	te	to
na 行	na	ni	nu	ne	no
ha 行	ha	hi	fu (hu)	he	ho
ma 行	ma	mi	mu	me	mo
ya 行	ya	i	yu	e	yo
ra 行	ra	ri	ru	re	ro
wa 行	wa	i	u	e	wo
拨音	n				

浊音和半浊音

ga 行	ga	gi	gu	ge	go
za 行	za	ji (zi)	zu	ze	zo
da 行	da	ji (di)	zu (du)	de	do
ba 行	ba	bi	bu	be	bo
pa 行	pa	pi	pu	pe	po

一、假名的发音的说明

1. 日语的发音,一般以唇舌的运动轻重做,不像英、俄文那样发元音时嘴唇舌都有很显著的不同,元音的区别,主要靠舌头的运动决定。一般来讲,浊音(即发音位置)比较集中,靠近口腔的中部。

2. 五个元音中,う和い的发音不够清楚,而且必须与中,程之只留下辅音而听不见“u”、“i”的音。这个现象在す、つ、ず三个假名上特别显著。

3. 关于か行、ち行、は行的辅音送气不送气的区别:

(1) 以上15个假名在促音音带尾边的时候,一般都应该成不送气音。但亦有例外,如け、こ(好)

(2) き、く、け、こ4个假名,除了(1)的情况外都应该成送气音。

(3) ち和つ两个假名,在任何场合都是不送气音。

(4) は行5个假名,在(1)的情况,则与促音音带尾边的时候成不送气音,其他都应该成送气音。

(5) か、ち、つ、と4个假名,在开头时应该成送气音,在句中或尾时成不送气音。如かち好(カ)。

但这只是一般的倾向,有不少例外。例如 t 加 r (宝貝), t 加 l 都是送气音。此外,同一个音节重叠的时候,两个都读成送气音。例如 $かかろ$ (為夫), t t 是(寶)。

二. 拼音法

1. 拨音 n 这个假名只附在其他假名后面构成音节,称为拨音音节,或简称拨音,罗马字用 $[n]$ 表示。发音时,若 n 后面是喉音(即 $か$ 行, $か$ 引, $は$ 引的假名),应自然地把它读为 (ng) ,其他场合大多读为 (n) 。在 $ま$ 引或 $は$ 引假名前^{no} 应自然地把它读为 (m) 。

2. 促音

舌尖促音 {
 舌根促音 {
 喉头促音 {
 双唇促音 {

例: $ちっそ$ [chisso, 登录] 契
 $ぜったい$ [zettai, 绝对] 绝对
 $けっちん$ [ketchin, 血沈] 血沈
 $はっかてん$ [hakkaten, 碓火堂] 碓火堂
 $しっぱい$ [shippai, 失礼] 失礼

3. 长音。把一个假名的发音拉长了(大约1.6倍)的音叫做长音。表示如下:

{
 $\langle a \rangle$ 变 + a [â]
 $\langle i \rangle$ 变 + i [î]
 $\langle u \rangle$ 变 + u [û]
 $\langle e \rangle$ 变 + {
 e [ê 或 ei]
 i [ô]
 $\langle o \rangle$ 变 + {
 o [ô]
 u

4. 拗音。在 i 变假名后面加 ya , yu , yo 而成的音节叫做拗音。

{
 ya 拗音: $\langle i \rangle_y$ [-ya]
 yu 拗音: $\langle i \rangle_{y\phi}$ [-yu]
 yo 拗音: $\langle i \rangle_{y\phi}$ [-yo]

拗音一般只出现在日语汉字和拟声、拟态词或外来语中。

例: $しゃしん$ [syasin, 写真] 像片。
 $しゅうぎょう$ [syuyô, 需要] 需要。
 $いんりょく$ [inryoku, 引力] 引力。

拗音也可以构成拗音、促音和长音。

例: シヤンハイ [Syanhai, 上海] 上海。

まのかんてき [kyakkanteki, 義親的] 多义的。

でんりゆう [denryû, 電流] 电流。

三. 日语词的用法及句子构造方面的特征:

1. 名词、动词、代词都没有性、数、格的变化。这些词在句中其他词调的关系, 不是依助词变化, 而是由附在词上的助词来决定。

2. 动词(及动词词)、形容词也有词尾变化, 但其变化不直接以性、数、格为转移, 而是以这些词后面的附属词为转移的。

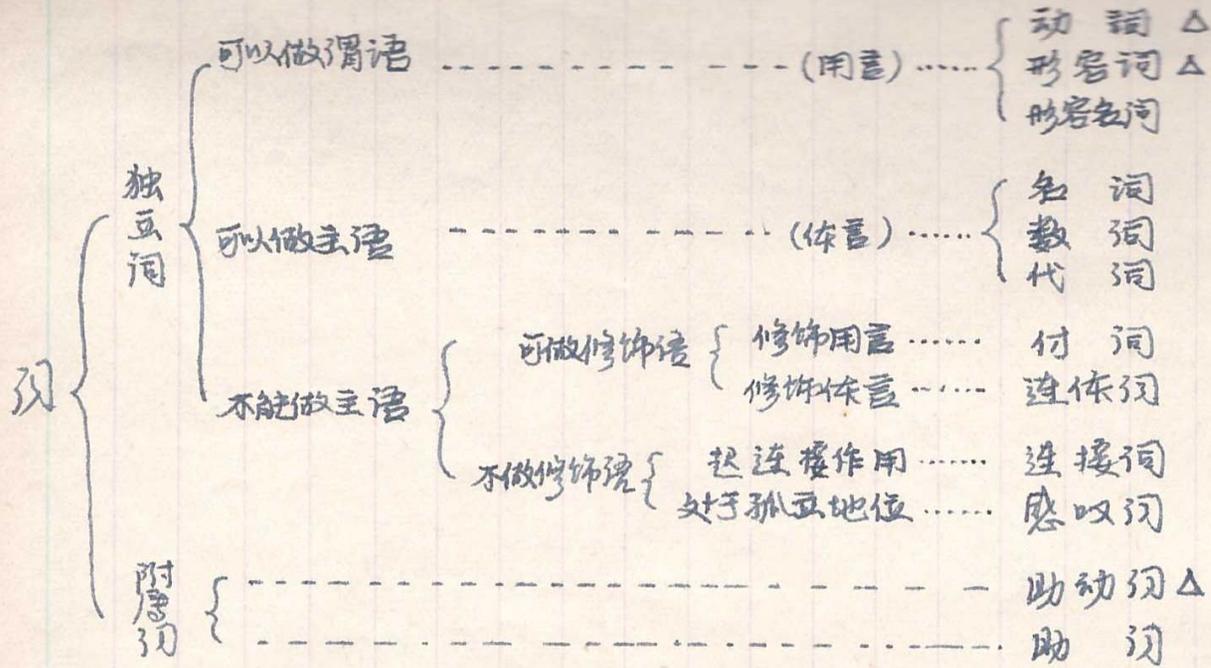
3. 句子有一定的顺序, 主语在前, 谓语在中间, 宾语、补语在中间。但其顺序除谓语在中间这一类外, 其他还是比较灵活的。因为日文词与词调的关系不是依助词, 而是依助词来决定的。

4. 修饰语(即定语、状语)是在被修饰语的前面, 不在后面。

第一编

詞法

日语助詞的分类表



活 用 簡 表

詞類	活用类型	基本形	未然形	连用形	终止形	连体形	假定形	命令形	
動 詞	五段活用	<う>	<あ> + { +はいぬ(ん) れる せる }<お> [+う]	<い> + { ます +て +て +て +て }<い> + { まい か、し から か、と ら し +らう +らう }<う> [+のて]	<え> + は	<え>			
	一段活用	上一段	<い>る	<い> + { +はいぬ(ん) ま ら れ る ま せ る }<い> 〃	<い>る 〃	<い>る 〃	<い>る 〃	<い>れ +は	<い>よ <い>ろ
		下一段	<え>る	<え> 〃	<え> 〃	<え>る 〃	<え>る 〃	<え>れ 〃	<え>ま <え>ろ
	変格活用	カ行	くる	こ 〃	き 〃	くる 〃	くる 〃	くれ 〃	こい
サ行		する	し + { +はいぬ(ん) ま ら れ る ま せ る }<し> 〃 せ + { ま ら れ る ま せ る }<せ> 〃	し 〃	する 〃	する 〃	すれ 〃	せま しろ	
形容詞	イ活用 (形容詞型活用)	い	/	く + { +は い て }<く> + { +は い て }<い> 〃	い 〃	い 〃	けれ +は	/	
	カリ活用 (動詞型活用)		から [+ぬ、す] かろ [+う]	かろ + { +て +て }<かろ> + { +て +て }<い> 〃	/	/	/	/	
助 詞	几規助 个則变 常用化 的助詞	たゞい	(+るかろ)	+はく +はかろ	+るい	+るい	+はけれ +は	/	
		ます	ませ [+ぬ(ん)] まし [+う]	まし [+て]	ます [+ます]	ます	ますれ 〃	ませ まし	
		である	である [+う]	である [+て]	である	である	である 〃	である	
動 詞	特 殊 变 化 的 助 動 詞	+て	+てろ +う	/	+て	+て	+てろ 〃	/	
		+て°	+て°ろ 〃	て て° +て° [+て]	+て°	+て°	+て°ろ [+は]	/	
		です	てし + 〃	てし +て	です	/	/	/	
		ぬ(ん)	/	/	ぬ(ん)	ぬ(ん)	ぬ +は	/	
		す°	/	す°	/	さる	/	/	

动词

15

一. 动词的定义:

主要说明事物的在时属性, 基本形的语尾在五音图的“う段”上的活用词叫作动词。

二. 动词按其变化的分类:

1. 五段活用动词: 其语干和语尾截然可分, 而语尾都是一个假名构成的。例: つかう[使う]。

2. 一段活用动词

上一段活用动词: 语尾为-くいる。例: おちいる。
下一段活用动词: 语尾为-くえる。例: のべる。

↑ 语尾的变化部分
↓ 语尾的不变部分

3. 变格活用动词

加行变格活用动词: くる[来る]
カ行变格活用动词: する (包括具有动词性质的名词 + する)
↑ 同时是语尾及语干。

三. 动词的“形”及其用法

1. 未然形

16

(1) { 五段活用动词未然形 (あ段) 语尾
其它动词未然形

+ { a. 助动词 { ぬい (ぬ) → 构成否定式
ぬ (ん)
b. 助动词 { れる (五段) → 构成被动式 (及可能式)
られる (其他)
c. 助动词 { せる (五段) → 构成使役式
させる (其他)
d. 助动词 まい (五段降) → 构成 (否定) 推量式。

(2) { 五段活用动词未然形 (お段) 语尾
其它动词未然形

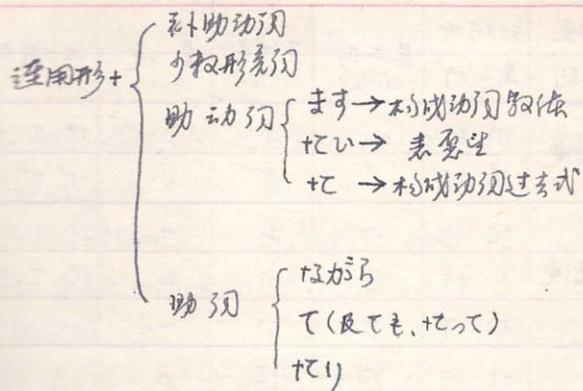
+ 助动词 { じ (お段) → 推量式
まじ (其他)

2. 连用形

(1) 中顿法: 表示句子中途停顿。

(2) 名词法: 动词连用形可当名词使用。这样的名词还可放在另一名词的前后, 构成复合名词 (68. 初音)

(3) 连用法

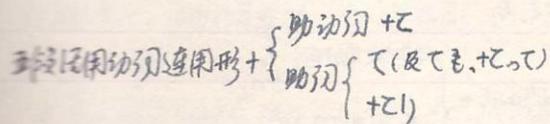


动词的连用形可以表示来征的目的：来征的目的是一种引动的目的，即“去做什么”，或“来做什么”的时候，这个引动动词的连用形表示，然后加格助词て，再加表示来征的动词。即：

连用形 + て + 表来征的动词。

例：今日から農村へ働きにゆく。/ 从今天起到农村劳动去。

4. 五段活用动词连用形的音便



→ 连用形发生音便 (さ行动词除外)

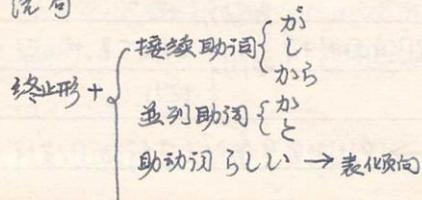
音便类别	动词所属之行	基本形 (5行尾)	连用形 (5行尾)	音便	后续词
い音便	か行	く	き	い	て、て、+てり
	が行	ぐ	ぎ	い	て、て、+てり
促音便	+て行	つ	ち	っ	
	ら行	る	り	っ	て、て、+てり
	わ行	う	い	っ	
拨音便	な行	ぬ	に	ん	
	ば行	ぶ	び	ん	て、て、+てり
	ま行	む	み	ん	
“さ行”动词无音便		す	し	/	て、て、+てり

〔注〕か引动词ゆく(いく)发生音便时，接促音便变化，其过去时是い+て，而不是ゆ+て，也不是い+て，这是一个例外。

3. 终止形

(1) 连句

(2)



たろう → 表假量或意志

たら → 表假定

③ 五段活用动词终止形 + まい → 构成(否定)推量式

4. 连体形

① 用于修饰体言(以及形容词), 即作连体

② 连体形 + 接读助词のて

5. 假定形

① 假定形 + は → 构成假定式

② 某些五段活用动词的假定形 + 与 → 构成可能动词
(形式上与下一段动词相同, 变化也与下一段动词)

6. 命令形

用作命令式, 独句。

四. 动词的式

1. 现在式

① 构成: 动词基本形 → 现在式

② 意义和用法:

a. 表示现在的状态或存在(一般不表示正在进行的动作)

例: あの図書館には日本の本がたくさんある/
那个图书馆有许多日本书。

b. 表示习惯、能力或意志。此时主语一般都是用は(叙述经常不变的事实时主语要用は)

例: わたしは自転車で学校へ行きます/我(经常)骑自行车去学校。

僕はすこしフランス語を話します/我会说一点法语。

わたしがわたしは加えろす^{びん}困難を克服する/
我(物)是要克服困难的。

c. 表示真理或不发生的事实。此时主语要用は。

例: 資本主義は加えろす^{めつ}滅亡する。/资本主义是一定要灭亡。

水は高いところから低いところへ流れます。
/水一是^{たか}从高处^ひ往低处^{たか}流。

d. 表示未来的状态, 存在或引为。(日语在时间上, 只有过去式, 现在式, 将来式, 将来式与现在式)

例: 明日の今頃私はもう西安にいます/明天这个时候我已经在西安了。

e. 为叙述生动化, 往往以现在时描写过去或进行中的事项。这种现在时叫作历史现在。

わかめ
例: 若芽が てる、花が さく、もう春が きて /
新芽出来了, 花开, 春天已经来到了。

2 否定式

(1) 构成:

五段活用动词未然形(あ)段(词尾) + 助动词 { ない
否定动词未然形 }

→ 否定式

(注: 五段活用动词有的否定式是ない, 不是
あらない, 这是唯一的例外)

(2) 意义: 表示否定

动词活用形 + { は + 形式用言するの
未然形し + ない → 表示语气强烈
の否定。
(助词は, 在都加加强否定语气助词性)

3 过去式

(1) 构成:

动词活用形(五段活用除さ引外为普通) + 时助词
た + 过去式

(注) 行く(いく) [行く] 的过去式是いった。

(2) 意义: 表示过去的状态或引为。

4 进行式

(1) 构成:

动词活用形 + て + 补助动词 { いる → 进行式。
いる }

(2) 意义: a. 表示正在进行中的引为或动作

例: 雨が 降っている / 在下雨。

沸騰している ガソリン / 沸腾着的汽油
空を飛んでいる鳥 / 在空中飞的鸟

b. 表示持续性或持续性的引为、动作, 现在表示状态。

例: 寝る 寝ている は、昼夜の区別なく、働いている /
高炉不分昼夜地在炼铁。

原形核は、核と細胞とからなっている /
原形核是由核和细胞构成的。

c. 表示过去或未来的某一个时候的进行中的引为或状态。

例: 来月の中旬には、この工事は、もう 終わ
ている。 / 到下月中旬, 这项工程就已经结束了。
あの先生は、今まで、ずっと 基礎物理学を教
ていた。 / 那位先生, 到目前为止, 一直在教基础物
理学。

5. 存续式

(1) 构成: { 他动词: 连用形 + て + 补助动词 いる
自动词: 连用形 + て + 补助动词 いる
いる
いる
(1) 存续式

(2) 意义: 他动词的存续式表示已经结束了的引为所造

破の状態繼續存在。

例: テーブルの上に本や実験用具^{おぐ}などが置
いてあって。/ 桌子と放着おれ実験用具。

在语法上, 他动谓的存续式与自动谓的地位相
同, 就是说, 他动谓的持续式不能为英语, 相当于一个
自动谓。这是存续式引进式的主要区别。

用存续式做是语的时候, 往往用“て”代替“
ている”。

例: 湿^しった空気 / 湿润的空气。

蒸^たかして鉄塊 / 蒸热的铁块。

但“ている”接在体言或助动词“ない”后面,
就一直保持到现在状态, 也是一种存续式。但是,
“ている”的存续式不是按自动谓处理。

例: 70の老人^{らうじん}がまた^{また}青年^{せいねん}のまもち^{まもち}でいる /

70岁的老人还一直保持着青年的心境。

ずっと海外^{かいがい}にいてかれは, また^{また}孫^{まご}娘^{むすめ}の顔^{かほ}
を知らな^しらな^らい^いて^いる。 / 一直在国外的他, 到现在
还是不知道和孙女儿见过面。

对自动谓来说, 引进式和存续式可以不加区别。

6. 完成式

(1) 构成: 连用形 + て + 补助动词 しまう → 完成式

(2) 意义: a. 表示动作的完成。

{ 表过去动作的完成 (用) - てしまった
表现在动作的完成 (用) - てしまう
现在和

例: さんねんぶん^{さんねんぶん} やいひん^{やいひん}
3年分の薬品を, いっしゅうかん^{いっしゅうかん}
1週間でみ^みたり使^{つか}って
しまった / 药用3年的药丸, 1个星期就全用完了。

この本は, 来週のうち^{うち}に読^よんでしま^まう / 这
本书预定在下礼拜读完。

b. 表示由一个动作或引出所引出的不可恢复或暂时
不可恢复复原状态的状态。

例: ロシヤ語^{ろしやご}を1年ばかり^{いちねんばかり} やり^やり^りましてが, もうほと
んど^{ほと} 忘^{わす}れてしま^まい^いまして。 / 搞^ご1年发蒙的俄
文, (现在)差不多已经忘了。

ガラスがこ^こわれてしま^まって。 / 玻璃碎了。

c. 表示感叹的语气。

7. 假定式

(1) 构成: 假定形 + 假设助词は → 假定式.

(2) 意义: a. 表示假定条件.

例: ガラス棒を絹布で摩擦すれば、電気を帯びるようになる / (若) 用绢布摩擦玻璃棒, (玻璃棒) 就会带电.

b. は也可以用来表示“条件”的关系, 相当于“一...就...”.

例: 時間が来れば、自動的にベルが鳴るようになる / 时间一到, 铃子就会自动地响起来.

c. は可以和も前呼应, 表示动作和状态的并存. 相当于“又...又...”.

例: 数学も必れば、哲学も必る / 也懂数学, 也懂哲学.

d. は与ほど(接在连体形后面)呼应, 表示两种状态同时例行的变化, 意为“越...越...”.

例: 歩けば歩くほど足が丈夫になる / 越走越健壮.

考えば考えるほどわからなくなる / 越想越糊涂.

8. 命令式

(1) 构成: 命令形 → 命令式

(2) 用法: 独来句子, 表示命令或号召的语气.

例: 原子価・1オン価を, 電子のはたらきから説明せよ. / 试从电子的作用的角度说明原子价和离子价的意义.

此外, 还有以下两种命令式的用法.

(1) 连体形 + ください

(2) 连体形 + て + ください. 这个形式有时带有“托请”的语气.

9. 推量式

(1) 构成:

五段活用动词未然形(扣)尾 + 推量助动词う } →
 一段活用动词(速连形) + 推量助动词よう } → 推量式
 变形活用动词

(2) 意义:

第一人称非连续表“考虑”, 意为: (我)要...

第二人称和第三人称共同做连续时(这时主语在句中被省略)

表劝诱, 意为: (让我)……吧.

第三人称做连续表推测, 意为: 也许……吧, 是……吧.

<注> 在部是句或是泰句里, 推量式一般都用表示推量。

10. 被动式

(1) 构成:

{ 五段活用动词未然形 <あ> 受词尾 + 被动助动词 れる
一段活用动词 } 未然形 + 被动助动词 られる
变形活用动词

→ 被动式

<注> するの被动式 せられる 往往省略为 される, 这样, 受动词的被动式从形式上看是 动词干 + される。

(2) 意义、用法:

表示被动。被动句要以受动词的相对对象作主语, 以动作的发出者做补语, 此补语用 に、から、に 表示, 没有体系明确指出主动者时, 则有表示“一般人”的引为时, 可以省去主动句中表示主动者的补语。

被动句也可以构成被动式, 一般用来表示遭受损失或困难的语气。

例: 新しい道具が, 学界から ^{おの} 注目 ^{ちやうど} されている。 / 時の流れ引起了学界の注意。

わが国の文化遺産は ^{おの} 加ねらす ^{ちやうど} われわれ にとって ^{おの} うけつがれるて ^{ちやうど} あるう / 我々の文化遺産 物由我所很好地继承下来。

王子物理学会は, 9月中旬に ^{ひら} 開かれる。 / 毎日物 理学会将在9月中旬(被动)召开。

雨にふられる / 被雨淋着。(自动词的被动式)

11. 可能式

(1) 构成:

{ 五段活用动词未然形 <あ> 受词尾 + 可能助动词 れる
一段活用动词 } 未然形 + 可能助动词 られる
变形活用动词

→ 可能式

<注> a. 五段活用动词的可能式词尾一般(不过全部 4 种)省略为 -<え>る (似乎与过去式+る, 同样, 在形式上与下一段动词相同) 这样构成出来的动词叫做可能动词, 其变化与下一段活用动词相同(但无 命令形)

b. 变形活用动词する 直接可能助动词 られる时, 也省略成される, 但此种说法现在已 不多见, 一般都用动词 加て きる [出来る] 表示。

(68.5.4) 意义、用法

表示“能力”、“可能”、“会”、“可以”等。注意, 可能式 的所谓可能 与 含义是“也许”之意的“可能”迥然不 同, 必须严格区别。即可能式表示“能力”或“可能” 不表示推量, 表示推量时用推量式。

①可动式, 其真径之④が表示. 状态说, 动词的
可动式以及可动动词一般都当做自动词.

例: 歯が痛くて, こはんが食べられぬい / 牙
疼得很也吃不了 (不能吃饭)

日本の雑誌は, まだ読めぬい / 日本的杂
志还读不了 (还不能读).

② 授受式

① 构成:

五段用动词未然形(ア) + 了(ル) + 授受动词(セ) }
一段用动词 } 未然形 + 授受动词(サ) }
五段用动词 }
五段用动词未然形 + 授受动词(文读) しめる }

→ 授受式

(注) a. 可的授受式せさせる, 必须约音成为
させる. 这样さ受动词的授受式 せり + させる.

せり / させる 之连用形是 { させ. 但与其连接 { せり / させる }

略, 往往说成 { せし

(2) 意义. 用法.

意为: 使... (做...)
令...
让...

a. 他动词的授受式作了省略时, 是以授受的发语序
作主语, 以被授受的人或事物作补语, 这个补语
④に表示.

例: 先生が学生に実験報告を^せ出させる /
老师让学生提出实验报告.

b. 自动词的授受式可以看作他动词, 而以被授受
的人或事物(相当于动词的主语)作它的宾语, 用
在表示. 但是, 授受句中如果没有用④的补语时, 也可
以用④代替.

例: 酸素と水素を^せ化合させる / 使氧和氢化合.
母親が子供を(或は)幼稚園へ^せ行かせる.
母亲让孩子到幼儿园去.

c. 动词的授受式可以在其未然形后加助动词
られる, 表示不由已进行的动作或被迫进行的动作. 这
种场合和さ受动词一样, "せり" 径之约音成为
せり

即: せり + られる → せられる → せられる
させる + られる → させられる → さされる.

五. 动词的敬体

1. 构成:

动词连用形 + 助动词ます → 敬体

2. 用法(以与文章)时, 对对方表示敬意. 若是用敬体和无人称, 除有特别理由之外, 需从头到尾用敬体. 若是用简体就是一贯用简体. 不可忽简忽敬. 但, 如从句中是谓语一般都用简体, 而条件句则简敬两用.

此外, 为表示进歩的敬意, 往往用ございます代替ます.

例: 今日、午後から時間がございますか / 今天下午有时间吗?

(68.6.6.)

动词 する 和 ぬる

一. する 的用法

する 是他动词, 意为“作”、“干”、“搞”、“进行”等. 它表示事物由于外力的转变或进行, 以该事物作宾语.

土地改革を ^{とちかい}する / 搞土地改革.

試験を ^{しけん}する / 进行考试.

仕事を ^{しごと}する / 作工作.

动词 する 的主要用法有:

1. 补格助词 に + する

此时, に 表示转成的目标, 而 する 则要灵活翻译, 不能死板地译为“作”.

例:

二つのものを一つに ^{いっしょ}する. / 把两件东西

合成一个.

青年を ^{せいねん}りっぱな ^{かんぶ}幹部に ^{かんぶ}する. / 把青年

培养成为优秀的干部.

自分の ^{こぶし}むすこを ^{ぐんじん}軍人に ^{ぐんじん}する. / 让自己的

儿子去当军人.

たまごを ^{たまご}ひよこに ^{ひよこ}する. / 把鸡蛋孵成鸡.

这种场合的 に 有时也可以用 と 代替, 但不大

常用。

二. 补格助词と + する

以时, する 除了其原义"作为"之外, 也有转变为"规定为"、"假设"或"认为"等意思的用例。

例:

われわれは マルクス・レーニン主義を
われわれの 指導原理と する。 / 我们

以马克思列宁主义作为我们的指导原理
五年の 五月一日を 労働者の 祝日と
する。 / 规定每年的五月一日为工人的节日。

ABの長さは CDの長さ に ひとしいと
する。 / 假设 AB 的长度和 CD 的长度相等。

ぼくは あくまで たがましい ことを た
がましいと する。 / 我坚决认为正确的事就是
是正确的。

世 是を 是とする。 非を 非とする。 / 以是
是, 以非为非。

三. 形容词的连用形 / 形容词 + して + する

以时, する 表示把一个状态转变为另一个状态。
这种情况下, 应该把 する 同它前面的形容词
或形容词连用形看作一个整体。(看成一个他动词)

例:

程度を ひくする / 降低水平

生活を よくする / 改善生活

国を 強大にする / 使国家强大起来。

来年から 学生を もっと 増やす。 / 从明年
起将增加学生。

適当な 運動は 健康を よくする。 / 适当的

运动会加强健康。

科学は 不可能な ことを 可能にする。 / 科
学使不可能的事成为可能。

二 する 不但可以单独使用, 还可以接在具有
形容词义的体言后面使它变成动词。

具有形容词义的体言 + する → 构成动词

一 汉语 + する (占绝大多数)

二 運動する、説明する、愛する、称する

三 日本人の漢語 + する

四 勉強する / 用功学习。 怪我する / 负伤。

心配する / 操心。我慢する / 忍耐。

C. 固有の日本語 + する

如: しごとする / 工作。はなしする / 談話。

D. 外来語動詞 + する

如: ダンスする / 跳舞。サインする / 签名。
ストライキする / 罢工。

这样构成的动词, する是语尾, 其它部分是语干, 而它的语尾变化和“する”单独使用时一样。这一类动词都称为 さ行变格活用动词。

这样构成的动词中, 有一部分可在する之前加助词を, 加与不加, 词义一样, 只是语感有些不同而已。

如: 怪我する = 怪我をする / 受伤, 负伤。

試験する = 試験をする / (作) 试验。

さ变动词用例:

学生たちはみなマルクス・レーニン主義基礎を勉強します。 / 学生们都学习马克思主义基础。

日曜日にはラジオ体操をしない。 / 星期不作广播体操。

二. なるの用法

なる是自动词, 意为, “成”、“成为”。它表示事物的自我转变, 以转变的事物作主语。

なる的主要用法有:

1. 形容词的连用形 } + なる
形容词 + くて

→ 表示状态的转变。此时, なる要灵活翻译。

这种场合的なる同它前面的形容词或形容词词不应看作一个整体(看成一个自动词)。

例:

生活がよくなる / 生活好转(提高)

問題が複雑になる / 问题复杂化。

北京は10月の末ごろからさむくなります。
/ 北京从十月底前后就要冷起来。

これから生活がだんだんゆたかになる。
/ 今后生活将逐渐丰裕起来。

2. 补助助词 に と } + なる → 表转变。

此时, に 或 と 表示转成的目标。

例:

二つのものが一つに(或と)なる。/两件东西变成一件。

たまごがひまてに(或と)なる。/鸡蛋变成鸡。

3. 动词连用形+て(は)+ならない

→ 表禁止。意为“不可”“不要”“不成”

ならない是なる的否定式。

例: 静止中の電動機に、一時に強大な電流送り込んで^おはならない。/不可向静止中的电动机突然输送强大的电流。

4. 动词未然形+なければならない

→ 表“应该”“必须”“非...不可”。

なければ^はならない 是由助动词^はない和动词なる组成的同组。

例: 病人は薬をのまなければ^はならない。/病人应该吃药。

表示授受的动词和补助动词

やる[遣る](他五) } 表示对授之间或由
あげる[上げる](他下) } 上而下的给与。
さしあげる[差上げる](他下) → 是敬语动词, 表示由下而上的给与。

やる同あげる比较起来, やる要简慢些。

用这几个动词的时候, 一般以“给与的人”(主语)作主语, 而以て表示“被给与的人”。而且, “被给与的人”只能是第二、三人称, 不可是第一人称。因此, 是第一人称站在“被给与”的地位时, 不可用这几个动词。可略表为:

[1][2][3]が[2][3]に、やる、あげる、さしあげる。

例: お父さんが子供に^{えほん}絵本をやって(或あげて)。/父亲给小孩子画册。(由上而下)
あの絵本は友だちに^てやって(或あげて)しまった。/那本画册给了朋友了。(对替)
李さんの時計はわたしがあげて(或やる)ものでした。/老李的表是我给他的。(对替)

而以「或」から表示“给与者”。

[1][2][3]が [2][3] {
 に { もらう
 から { いたててく
 ちゅうでいる

例:

ぼうやが おかあさんに(或から) キャラメル
 を もらって(或いたてていた)。/(小孩子由母亲
 那儿要来了牛奶糖) = 母亲给了小孩
 牛奶糖。(由下向上)。

このお写真ししんは先生せんせいから ちゅうでいた
 (或いたてていた) ものです。/(这相片是先生
 给我的。(由下向上))

友だちのところから花はなの種ねを もらっ
 てきた。/(从朋友那边要来了花种子。(对友)
 てくさん いたててきました(或ちゅうでい
 しました)。/(已经饱了)。= 已经吃饱了。

应当注意, 以上的说明都是最基本的
 原则。在实际语言生活中, 为创造特殊的
 语感或因修辞上的必要, 往往也有违反
 这些原则的用例。

上述七个动词(不包括ちゅうでいる)都
 可以作助动词表示一个行为的受授关系,
 而这七个助动词所表示的“上下”或“彼此”
 之间的受授关系以及助动词的用法, 完全同作为独立
 动词的情况一样。

例:

① 动词连用形 + て + {
 やる
 あげる
 さしあげる

兄あにが 弟あにに クレオンクレオンを 買って やって(或
 あげて)。/(哥哥给弟弟买了彩色蜡笔。

西にしが ぶりぶりてうてうてから 筆かきを 貸して あげ
 て(或やろう)か。/(好像要下雨, 借给你一
 把伞吧。

先生、お荷物にものを もって さしあげましょ
 う。/(先生, 我来替您拎东西吧。

② 动词连用形 + て + {
 くれる
 くてさる

兄あにちゃん、パパのほんを もって きて

おくれ。/ 小弟、把爸爸的书给买来。

先生が日本へいらっしゃいました。お
ついでに買ってくださったものです。
/ 是先生到日本的时候顺便给买的。

c

动词连用形 + て + { もらい
いただく }

子どもがお父さんに積木つみきを買って
もらった(或いただく)。/ (小孩子跟父亲给
买了积木) = 父親给孩子买了积木。

先生にとってもらった(或いただく)写
真を壁に掛けておいた。/ 把(来)先生给
照的相片挂在墙上。

あしたの開会式には市長しちおさんにも来て
もらい(或いただきます)。/ 明天的开幕式
请把市长也给请来。

用这两个补助动词的时候, 一般表示“给与
者”应“接受者”的要求而作的行为(但不是绝
对的)。这一类和b.的场合不同。用くれる
或くださる的时候, 给与者的行为可能是自

的, 也可能是应要求而作的。

要明确表示应要求而作的时候, 可以用

“おろす[頼る](他五)”作补助动词。(不加点)

おろす
頼る
おれへいらっしゃる ついでに 外文书店
まで おろし頼がいました。/ 趁他到城里去,
我顺便请他到外文书店去一趟。

⑤ ちゃうてい

ちゃうていする用作补助动词的时候与
用作动词同时的情况不同, 它不是属于c.类,
而是属于b.类, 属于ください。而且不能加す
る, 只能以ちゃうてい结句(不能作定语)。

例:

この本をしばらく貸してちゃうてい
(=ください)。/ 这本书请借给我一会儿吧。